



特集

子どもたちの笑顔のために

市では、子どもや保護者が安心して過ごせるよう、子どもにかかわる各部署が連携し、子ども支援や子育て支援を行なっています。これに加え、学校が拠点となって地域や行政と連携し、子どもたちが笑顔で楽しく育っている仕組みづくりを進めています。今回は、子どもや保護者を取り巻く状況とその対策についてお知らせします。

【教育福祉連携推進室】

このような現状を受け、市は平成29年4月にハートブリッジ（子育て世代包括支援センター）を開設し、保護者自身の悩みや子育てに関する悩みの相談を受け付け、専門職による対応を始めました。悩みを持つ保護者を早期からサポートすることで、問題が深刻化する前に解決していくことを目指しています。

こうした取組みに加え、保護者と子どもが置かれている状況や問題を把握し、今後の取組みの充実や改善につなげていくため、平成29年9月には「子どもの生活に関する実態調査」を実施しました。

次のページでは調査結果の概要についてお知らせします。

子育て世帯の状況

妊娠、出産から子育て期に至るまで、子育て世帯には不安や悩み、困りごとが数多くあります。不安や悩みなどがあるとき、周囲の誰かが相談相手になってくれることが、保護者の安心につながります。

しかしながら、社会情勢の変化に伴って家族の形や地域コミュニティも変化し、子育てについて周囲に気軽に相談することが難しくなってきました。

子育て世帯へのサポート

今月のかけ橋人

紙芝居 × 橋本人

かける

右の二次元コードから紙芝居「たびするハリー」の動画も見てね！



手づくり紙芝居コンクール優秀賞 石井 咲充さん（三石小学校3年生）

学校の調べ学習で「へら竿」のことを知り、橋本市にこんなすごい伝統工芸品があるんだと驚きました。そこで、1年生の時から一緒に暮らしている大好きなぬいぐるみの「ハリー」と「さくハリ」がへら竿づくりをする紙芝居を作りたいと思いました。紙芝居の中にでてる鼻歌も作曲し、自分でオルゴールも作りました。

夏休みに頑張って作った紙芝居が優秀賞に選ばれてとてもうれしいです。たくさんの人に「たびするハリー」を見てもらってハリーたちとへら竿のことを知ってほしいです。

目次

— CONTENTS —

- 3 特集
子どもたちの笑顔のために
- 8 情報ワイド
 - ▶ 4月の統一地方選挙について
 - ▶ がん検診などのお知らせ
 - ▶ きれいな水を次の世代に
 - ▶ 信太小学校閉校など
- 11 情報ひろば
- 16 タウン情報
- 17 子育てぱ一く
- 18 本のひろば
- 19 健康カレンダー
- 20 フォトピックス

保存版
橋本市の自治と協働をはぐくむ条例パンフレット

今月の表紙



学文路小学校では「かむかむ食堂」が月1回実施され、地域の人が作った朝ごはんを子どもたちが笑顔で食べています。